



発行日：2011.11.9 編集：富合町合併特例区協議会

富合町合併特例区ホームページ
http://www.tomiaitokureiku.jp/

六殿宮大祭 国町区 すばらしい大祭に！

快晴の秋の一日、国町区の朝は5時30分に始まりました。全員が集合し出発準備。心が引きしめる中での喜びの朝です。7時30分には準備整い、六殿宮に向け出発。今回は今までにない道程、新幹線車両所の古閑跨線橋を通り、真っ白のコンクリートを背景にした祭りの行列でした。

「吉永祐治実行委員長を中心に全区民の協力で、神事、馬追、流鏝馬と大祭を無事終了することが出来ました。仲間、射手、ラッパ隊のみなさんの頑張りのもあり、『よか祭りだったですね！』と声をかけていただいています。今回は初めて神楽を取り入れた奉納おどりも登場。いかがだったでしょうか」と敷島区長は笑顔で語ってくれました。また、「富合町の各地区の氏子のみなさんの温かなご支援と関係者のご指導に感謝します」と何度も繰り返していました。



祭りの花、流鏝馬の射手は堂々と馬上に



飾り馬もまた主役 落ち着いた動きはさすがです



境内は小石一つ無いように整備



馬追神事 勇気と努力



ラッパ隊はいつも元気ないい音を



勢子の参加は200人



ボクは「わらじ」をはいてさんかしました。はしりはばっちり！



ポニーも元気よく みんなも元気

ラッパ隊に松橋町のお客さんから「小学生もかたっとるとに、よか音ですね。」とのお褒めの言葉をいただきました。



「テーマは『躍動』です。9月より本格的に準備を行ってきました。楽しい、素晴らしい学習発表会にしましょう」と東 真衣実行委員長のあいさつで開会。西山校長の「やる気と時々不安を乗り越えた充実感」と「豊かな心」へ思いは伝統文化、各教科・学習の発表そして各クラス単位の合唱コンクールに見えたのではないのでしょうか。また、「今年も和の精神を持ち、発表会に向けて全力を注いで準備してきました」の河北麻依生徒会長の言葉を来校されたすべての人が納得では。



こんな絵手紙うれしいでしょうね



三味線の音色を楽しみました

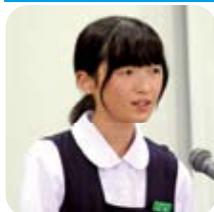


ずっと続けてください

「意見発表」では、音楽に対する思い、故郷(家)に対する思いをみんなに伝え、そして伝わったことでしょう。その思いを紹介します。原稿用紙(400字)6枚を紙面の都合でまとめた部分があります。

「もっと心と体で感じて」

富合中学校 2年 白杵 茄都



みなさんにとって「音楽」とは何ですか。好きな歌手の歌？音楽の授業？

私にとって音楽は生活に欠かせないもので、ピアノに触れることで、もっと好きになりました。私がピアノを習い始めたのは6歳の頃です。いところがピアノを弾いている姿にあこがれ、8年間続けてきました。去年のコンクールでは、初めての参加でしたが「銅賞」を取ることができました。しかし審査員の先生の講評にこんなコメントが書かれていました。「もっと心と体で音楽の流れを感じて表現してください」この言葉をみなさんならどう解釈しますか。

その日から私はその言葉を意識するようになりました。でも、これまで通り「曲を最初から最後まで何回も繰り返し弾く」という練習では、講評にあった「心と体で表現する」することができません。今までとは違う新たな練習方法が必要です。そこで考えついたのが「曲にストーリーをつけて弾く」です。ピアノの演奏には当然歌詞はありません。音符のみです。その曲調にイメージを載せるのです。この方法で今年のコンクールの課題曲をイメージしてみました。タイトルは「戦士のおどり」。この曲は暗く、それでいて迫力があります。この変化に富んだ曲を、両手の使い方や弾き方の強弱をもとに考えたストーリーは、戦士AとそのAを目の敵にしている戦士Bが一騎打ちするというものです。最初は戦士Aが斬りかかり、戦士Bは「負けられない」と受けて立ちます。そのうち争いが激しくなり、そのまま両者はお互いに譲らず、クライマックスに突入。がむしゃらに攻めるAに対して、冷静なBはAの隙をついて致命傷を与え、戦いに勝利。歓声の中、戦いはエンディングとなります。

私はこの方法で、コンクールに向けて練習をがんばりましたが、頭の中ではストーリーを考えていても、それを体で表現することができません。そんな時私は、ある人物の存在を思い出しました。その人の名は辻井伸行さん。辻井さんは視覚障害を持つピアニスト。私は、この辻井さんの生き方を改めて見つめる中で、「努力は裏切らない」という言葉を思いつきました。障害を抱える辻井さんは努力し成功しました。私はちょっとうまくいかないと投げだしています。そんな私にピアノの先生が「悲しい場面だと思ったら音を小さくする。音を小さくしたかったら体を小さく縮めて弾くと良いよ」とアドバイスをしてくれました。実際にその通りに弾いてみると、少しずつ「心と体で音楽の流れを感じて表現する」と言うことが、自分なりにできてきたような気がし、その感覚を手がかりに懸命に練習を重ね、本番の日まで鍵盤を叩き続けました。

そして迎えたコンクールの日。弾き初めは緊張で上手く指が動いてくれません。しかし譜面が進むにつれ、次第に緊張がほぐれ、思い通りの演奏ができました。審査結果は「銀賞」。私の胸はうれしさでいっぱい、諦めずに練習してきた本当に良かったと心の底から思うことができました。

この経験から私は、音楽は奥の深いものだと感じました。ただ音符が並んでいるようであっても強弱の変化、音の明るさ、リズムの違いなどを感じ取って聞くことで、今までとは違う角度で音楽を楽しむことができます。みなさんも、今まではただ聴き流していた曲を、一度違う角度で聴いてほしいと思います。そして「心と体で音楽の流れを感じる」ことを試みてほしいのです。そうすれば、その曲の新たな良さ、味わいの深さ、本当の意味を感じることはできるのではないのでしょうか。

「家が好きだから」

富合中学校 3年

改原 鵬



みなさんは今、自分が住んでいる町についてどう思いますか。私はこの質問を自分に問いかけてみたところ、このような結果になりました。「私にとって富合町はとても大切なものだけど正直好きじゃない」私がこう思い始めたきっかけは散歩中です。田んぼ道をひとり歩き、富合の心地よい風にあたり、日頃の疲れをその風が取り除いてくれているときでした。ふと周りを見回すと目の前には雄大な雁回山と、たくさんの田畑が私を見守ってくれていました。でも何かが違う、少し別の雰囲気を持った富合町だと言うことに気がきました。そして次第に「ここは私の大好きな富合町じゃない」と思うようになったのです。私が大好きな富合町は、自然に囲まれ、見渡す限り広がる田畑があって、歴史を感じさせる町です。雁回山や多くの田んぼは四季折々いろんな表情を見せ、春は桜、夏は緑色の葉、秋には赤や茶色の紅葉、冬には葉を落とします。田んぼの小さな苗は秋になると黄金色に揺れ、「やっぱり富合町はいいなあ」と幸せな気分になります。私が幼かった頃は、壮大は田園の中にぽつぽつと木造の家があり、道も砂利や土で出来ていました。それはまるで「となりのトトロ」に出てきそうなくらい美しい景色でした。しかし現在は町の人口も増え、きれいな家が建ち並ぶ住宅地やコンビニやお店が急激に増え、そして「新幹線車両基地」が出来ました。

初めての見学では新幹線「さくら」を見て感動しました。博多まで30分で行くことが出来ます。そんなすごいことに富合町が携わっていることを知り、少し鼻が高い気持ちになりました。でも「人」にとって便利なものを得た代わりに失ったものがありました。それは何だか分かりますか。答えは車両基地より奥の景色です。美しい田園風景がコンクリートで出来た大きな壁によって遮られてしまったのです。私にとって、とてもショックな出来事でした。富合町にいろんな建物が建っていく中、美しい風景が、人のために造られたコンクリートのかたまりによって台無しにされてしまいました。今では「新幹線車両基地なんていないのに・・・」と思うようになってしまいました。

富合町の一番いいところは自然に恵まれているところです。つまりこの町の「自然」はもうこれ以上失ってはいけないということです。「歴史」や「伝統」も同じです。今、世界では「地球温暖化」や「森林破壊」などが大きな問題となっています。そのようなマイナスなことを感じさせないような町づくりをしていくべきだと思います。富合の活性化だけを考え、過剰な行動ばかりとっていると町の魅力はだんだんマイナスの方へ向かいます。どこまで変わるべきか、どこまで変わらず残していくべきかです。富合町にとって大切なことは町の魅力を後世に残し、引き継いでいくことだと思います。私は今後、富合町を愛する一人の住民として、この町を支える柱になっていきたいです。これからも富合町は私の故郷であり、帰るべき場所、つまり私の「家」なのです。

みなさんは今、自分が住んでいる町についてどう思っていますか。

クラス対抗合唱コンクールは1年生「大空のドーム」2年生「命が羽ばたくとき」3年生「ふるさと」の課題曲と自由曲。P T Aコーラスは「負けないで」「上を向いて歩こう」。富合の美しい歌声でした。



友達をモデルに いい思い出に



3-1 自由曲「怪獣のバラード」
の終わりのポーズ

楽しい曲ですね



3-2 課題曲「ふるさと」

どのような気持ちを込めて！

合併特例区協議会のとりのくみ

平成23年度 第7回 富合町合併特例区協議会

開催日：10月12（水） 場所：アスパル富合研修室

協議 1. 合併特例区終了後の特例区事業について

特例区終了後の平成25年10月で終了する9事業の、今後の取り組みについて協議。
今後、校区自治協議会設立検討委員会、実施団体との協議を確認。

	事業名	実施主体	特例区担当班			合併特例区	保健福祉班
1	富合町体育祭	体育協会	まちづくり班	5	健康祭	合併特例区	保健福祉班
2	富合町駅伝大会	体育協会	まちづくり班	6	産業祭	産業祭実行委員会	産業振興班
3	富合町成人式	合併特例区	まちづくり班	7	ふるさと祭り	ふるさと祭り実行委員会	産業振興班
4	富合町文化祭	文化協会	まちづくり班	8	さわやか学級	合併特例区	まちづくり班
				9	保健事業	合併特例区	保健福祉班

協議 2. 富合町老人憩の家の指定管理について

○指定管理機関 平成24年4月1日～平成25年10月5日まで

○今後のスケジュール（予定）

平成23年12月に募集要項を協議・承認。平成24年1月に指定管理者を公募。その後選定委員会による審査、合併特例区協議会による協議・承認。

2月下旬に指定管理者を指定。

○事務局より詳しい説明を受け、協議後同意。

報告 1. 古閑、志々水配水区の断水について

9月11日と12日の断水について上下水道局水源課の調査結果と今後の対応について報告。

①断水対応

断水…9月11日(日) 21時30分頃～23時

状況：取水ポンプが自動起動せず→配水タンク水位低下→配水ポンプ停止

対応：断水連絡を受け、緊急出動(施設対応班、給水班) 取水ポンプの手動運転、給水車による補給を開始。洗管作業、濁水対応、原因対応と状態監視を継続。

断水…9月12日(月) 19時50分頃～22時30分

状況：取水ポンプは運転していたが配水タンク水位低下30cm→配水ポンプ断続運転

対応：断水連絡を受け、緊急出動(施設班、給水班) 配水開始、給水車で補給。配水タンク水位1mに回復。洗管作業、濁水対応開始。監視を継続し、配水タンク満水を確認。

13日～19日は現地待機と実態把握を継続。職員が朝（6時～10時）夕（18時～22時）のピーク時間帯に給水車で現地待機。

②原因の総括

テレメータによる監視グラフ調査の結果、取水と排水のアンバランスが重なったことが原因。

③今後の対応

・水位や配水量の変化などの使用実態の把握ができていなかった→ 監視装置を設置し、24時間監視。

・配水タンク容量不足→濾過器流量を12トン/時を15.6トン/時に増加でピーク水量に対応。

・不明水調査の継続

・配水量の増加に対し水量把握を継続し不足の場合は新たな給水を断ることも検討する。

※富合町の水道施設は第6次拡張計画で段階的に統合を進めていくこととしている。

平成25年を目標に市東部水源地の水を富合東部配水場から廻江清藤配水場を經由し古閑、志々水地区へ配水できるよう工事を進めている。

以上説明がなされ、断水時の地域への説明(およその回復予定など)を要望した。

報告 2. 償却資産申告の推進に向けた説明会について

償却資産（固定資産税）については、毎年1月1日に所有している土地、家屋以外の事業用資産について申告することとされていますが、合併3町においても旧市域との公平な課税を行う必要があることから、個人も含めた事業者の方に対し、償却資産の申告に関する制度について説明会が資産税課から実施されます。

○説明会概要

- ・日時 平成 23 年 12 月 7 日(水)と 9 日(金) 午後 7 時～
- ・場所 アスパル富合 研修室

○スケジュール

- 11 月上旬 資産税課からの「説明会案内文書」の回覧
- 12 月下旬 資産税課からの申告書の発送
- 1 月 申告書の提出

【償却資産とは】

会社や個人で工場や商店などの経営や不動産業や農・漁業を営んでいる人が、その事業のために用いることができる資産(構築物、機械、器具、備品など)をいいます。

問い合わせ先 資産税課償却資産班 電話 096-328-2195

同じ内容です。
都合の良い日に
ご参加ください。

ねんりんピック

全国からのお客さんをお迎えして

「火の国に 燃えろ!ねんりん 夢・未来」をテーマに開催された「ねんりんピック」。富合町の雁回館では「健康マージャン交流大会」が 10 月 16 日(個人戦)と 17 日(団体戦)に選手・役員約 500 人を迎え実施されました。お楽しみコーナーではプロとの対戦もできました。



「どうぞ楽しんでください」



会場の様子 55卓が並びます



にこやかな笑顔で
土井裕美子プロは八代市出身

富合町ではおもてなしコーナーに食生活改善協議会を中心に 20 人が参加。2 日間とも 400 食の温かい汁物を準備。交通整理には老人会などのボランティアが参加。



おもてなし 「豚汁」です



卓は県産材100%の組み立て・分解容易で
釘は1本も使われていません



「また来年! 仙台で

開会式、閉会式での心に残ったお二人の二つの言葉を紹介します。 参考になりますか?

斎藤 正氏 (全国麻雀段位審査会会長)

「健康マージャンは“囲む”という中国古来のゲームです。テレビや芝居、野球、ゴルフを見ることは一方通行の娯楽ですが、健康マージャンは自分の思っていることを話し、相手の話を聞くと
いう高齢者には最適なゲームです。コミュニケーションが広がり、出かけるときの身だしなみや
おしゃべりは若返りに繋がります」

小島 武夫プロ (日本プロマージャン連盟 初代会長)

「『勝ちたい、勝ってやろう』と思うと必ず負ける。『今日は良いマージャンをしてみよう』
と思っていると必ず『今日は良い成績だった、良いマージャンをした』につながりますよ」

平成 24 年度の「ねんりんピック」開催地は宮城県です。「東日本震災からの復興まで時間はかかる
と思いますが、心を込めてお迎えします」と宮城県の代表者からの言葉がありました。

合同消防訓練 地域の安全を守っています。

総合応援協定区間の富合町杉島・御船手付近の住宅密集地の火災防御に対処するための訓練を10月10日(月)10時、加勢川左岸(御船手)で実施。参加したのは西消防署川尻出張所、宇城広域連合北消防署、消防団第75分団(富合)及び第50分団(川尻)。富合町からは杉島、上杉、大町が参加。

合同指揮本部設置訓練、情報収集及び伝達訓練、無線通信訓練、ポンプ中継送水等が実施され、各団員は緊張の中、きびきびと訓練を続けていました。



気持ちを合わせて



しっかり勉強



加勢川左岸に集合

新幹線フェスタ 2011 in 熊本 10月30日 雨模様でしたが、多くの見学者で賑わいました。

跨線橋から見たまつりの様子



なずな工房
パンはいかがですか!



富合商工会女性部の笑顔
富合町からは5店舗出店

宇城広域連合からのお知らせ

うき・宇城エコフェスタ2011

日 時：平成23年11月27日(日)
10時～14時
場 所：宇城クリーンセンター
内 容：☆リサイクル品大抽選会
☆フリーマーケット
☆子ども太鼓
☆エコ川柳作品展示
☆エコクイズ 等
○軽食コーナーもあります
問合せ先 宇城広域連合
電話(0964)32-4153
環境問題をみんなで考える機会に!



クリスマス mini パーティー



主催 宇城広域連合結婚活動支援センター
○パーティーの参加者を募集します。
日 時：平成23年12月11日(日)
14:00～(13:30受付)
場 所：宇城広域連合
参加資格：宇城管内に済む20歳～40歳の独身男性
20歳以上の独身女性(管内外問わず)
参加費：1,000円
定 員：男・女15名ずつ
応募方法：電話受付(応募多数の場合は抽選)
募集期間：平成23年11月14日～11月25日 9:00～17:00
受付・問い合わせ 電話 0964-32-4144
宇城広域連合結婚活動支援センター 担当 村上



合併後の富合町の人口。熊本市統計課のホームページより

	世帯数	人口	男性	女性
平成23年10月	3,096戸	8,615人	4,102人	4,513人
平成22年10月	2,958	8,363	3,974	4,389
平成21年10月	2,817	8,173	3,866	4,307
平成20年11月	2,741	8,092	3,845	4,247

11・12月行事予定

11月24日	資源ゴミ拠点回収
12月6日	心配ごと相談
	行政相談
8日	資源ゴミ拠点回収
14日	特設人権相談

中学校の学習発表会で、多くのことを感じ、学びました。収穫が終わり、軒下にはつるし柿。冬を迎える富合です。
広報部会(野口)

お・知・ら・せ

熊本市社協富合支所の事務所が11月に1階から2階に移転しました。新事務所は現総務課のお向かいです。新しいカウンターでお待ちします。